

バージョンアップガイド (Ver.17.2→Ver.18)

EX-TREND 官公庁 Ver.17.2 から Ver.18 への
バージョンアップ内容をご紹介します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である
場合があります。ご了承ください。



目次

バージョンアップガイド EX-TREND 官公庁 (Ver.17.2→Ver.18)

1 建設 CAD P.2

1- 1 「CAD製図基準」H29.3に基づくCAD製図基準チェックに対応	1
1- 2 「レイヤ名のユーザー定義」に日本語名を付加	1
1- 3 「CAD製図基準」H29.3に基づくファイルの命名規則に対応	2
1- 4 [発注図を開くガイド]で[図面配置]ダイアログを表示	3
1- 5 横断丁張でセンターからの離れ、比高を考慮した形状を配置	3
1- 6 3次元設計データ作成で農林水産省の「情報化施工技術の活用 ガイドライン」(H29.3)に対応	3
1- 7 3次元設計データ作成で横断計画の部分読み込みに対応	4
1- 8 「LandXML 1.2に準じた3次元設計データ交換標準(案) Ver.1.0」に伴う対応	4
1- 9 「LandXML 1.2に準じた3次元設計データ交換標準(案) Ver.1.1」に伴う対応	4
1-10 TREND-COREのデータの読み込みに対応	5
1-11 TREND-POINTへ書き込みで舗装の厚みに対応	5
1-12 TREND-POINTと同時起動して連携可能	6

2 TRENDff P.7

2- 1 「CAD製図基準」H29.3に基づくCAD製図基準チェックに対応	7
2- 2 「レイヤ名のユーザー定義」に日本語名を付加	8
2- 3 「CAD製図基準」H29.3に基づくファイルの命名規則に対応	9

3 電子納品検査プログラム P.10

3- 1	国土交通省の電子納品要領に対応	10
3- 2	国土交通省港湾局の電子納品運用ガイドラインに対応	10
3- 3	水資源機構の電子納品(国土交通省準拠)に対応	10
3- 4	地籍調査に関する電子納品要領に対応	10
3- 5	電子納品の「ICON」フォルダに関する出来形管理要領や手引き (H29.3)に対応	11
3- 6	UAV関連の測量成果追加	11
3- 7	「CAD製図基準」H29.3に基づく図面の命名に対応	11

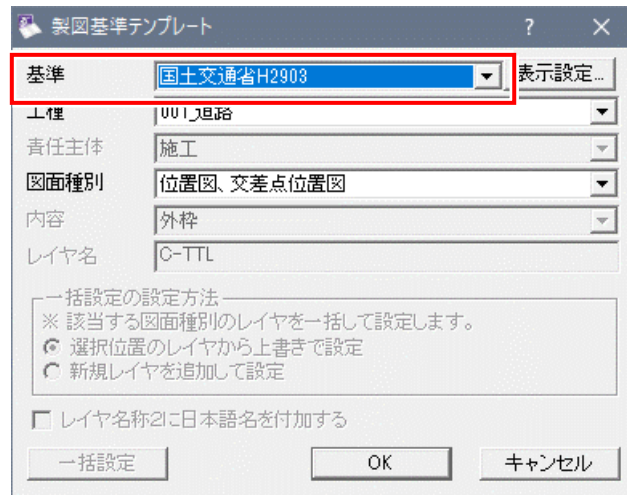
4 写真管理 P.12

4- 1	「デジタル写真管理情報応用スキーマ定義書 Ver.3」に対応した 写真および写真情報の取り込みに対応	12
------	---	----

1 建設 CAD

1-1 「CAD 製図基準」H29.3 に基づく CAD 製図基準チェックに対応

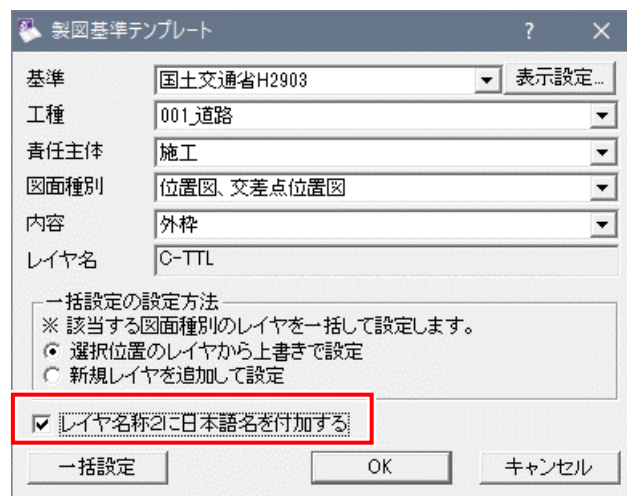
〔土木〕－〔チェック〕－〔CAD製図基準チェック〕の〔CAD製図基準テンプレート〕で「国土交通省H2903」を選択してチェックできるようにしました。



1-2 「レイヤ名のユーザー定義」に日本語名を付加

〔設定〕－〔レイヤ設定〕の〔CAD製図基準テンプレート〕に〔レイヤ名称2に日本語名を付加する〕を追加して、「レイヤ名のユーザー定義」に日本語名を付加できるようにしました。

※〔基準〕で「国土交通省H2903」以降を選択した場合に有効です。



1-3 「CAD製図基準」H29.3に基づくファイルの命名規則に対応

［ファイル］－［外部ファイルへ保存］の［CAD製図基準に準拠］に［ファイル命名規則］を追加して、［H29年度以降］と［H28年度以前］を選択できるようにしました。

ファイル名称: 001C00 ファイル形式: P21 ファイル種類: Version 3.1

CAD製図基準に準拠

ファイル名命名規則: H29年度以降 H28年度以前

図面番号: 1

ライフサイクル: C - 施工

整理番号: 0

図面種類:

規定外図面種類: (半角アルファベット大文字のみ)

改訂履歴: 0

☒ ユーザー定義

☒ 詳細設定を行う

OK キャンセル

［ファイル］－［SXF一括保存］［DXF/DWG一括保存］の［ファイル名一括設定］にも［命名規則］を追加しました。

ファイル名一括作成

☒ 製図基準ファイル名 ☐ 通常ファイル名

命名規則: H29年度以降 H28年度以前

整理番号: 0

図面番号: 1

改訂履歴: 0

ページ名 元のファイル名 から作成

OK キャンセル

1-4 「発注図を開くガイド」で「図面配置」ダイアログを表示

【ファイル】－【発注図を開くガイド】で「DXF/DWG」または「JWC/JWW」を取り込む際に、ファイル選択したあと【図面配置】ダイアログを表示するようにしました。



1-5 横断丁張でセンターからの離れ、比高を考慮した形状を配置

横断丁張のTS出来形モード以外のプレビューや配置した図面などで、センターからの離れ、比高を考慮した形状を配置できるようにしました。

1-6 3次元設計データ作成で農林水産省の「情報化施工技術の活用ガイドライン」(H29.3) に対応

3次元設計データ作成のTS出来形設計データ出力で、農林水産省の「情報化施工技術の活用ガイドライン」(H29.3) に対応しました。

対象工種は、

- ・共通工事（掘削、盛土、栗石基礎、碎石基礎、砂基礎、均しコンクリート）
- ・管水路工事（管体基礎工（砂基礎等）
- ・圃場整備工事（基盤造成、表土整地）

です。

1-7 3次元設計データ作成で横断計画の部分読み込みに対応

3次元設計データ作成の「横断」に「断面設定」－「取り込み」－「横断設計照査」を追加して、3次元設計データで変更した横断図、追加した横断図を、部分的に読み込んでデータを更新できるようにしました。



1-8 「LandXML1.2に準じた3次元設計データ交換標準（案）Ver.1.0」に伴う対応

舗装データを扱えるように変更しました。

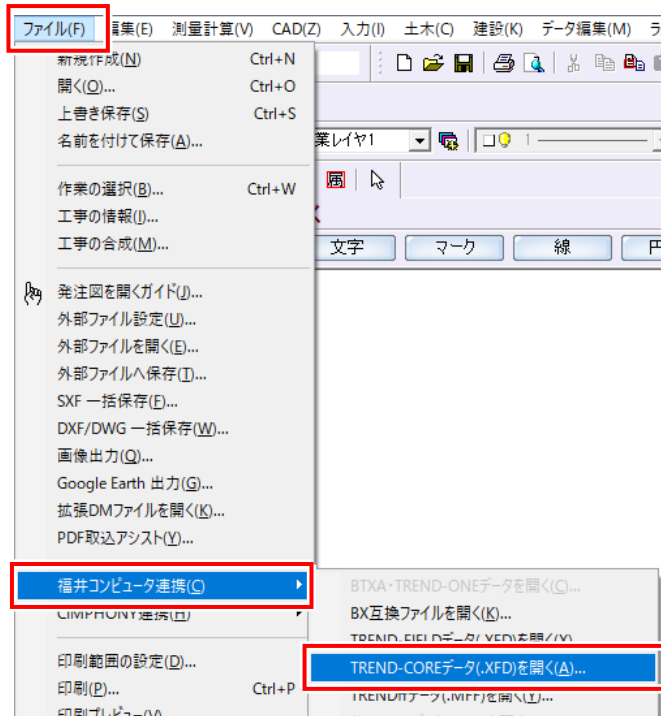
分割せずに書き込みをおこない、舗装工種や厚さ等をLandXMLに出力できるようにしました。

1-9 「LandXML1.2に準じた3次元設計データ交換標準（案）Ver.1.1」に伴う対応

「LandXML1.2に準じた3次元設計データ交換標準（案）Ver.1.1」に伴う対応を行い、Ver1.1形式のデータを出力できるようにしました。

1-10 TREND-COREのデータの読み込みに対応

【ファイル】－【福井コンピュータ連携】－【TREND-CORE（.XFD）データを開く】を追加しました。
弊社のTREND-COREで出力した連携ファイルを開いて、3次元設計データ作成に読み込むことができます。

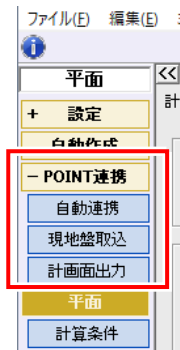


1-11 TREND-POINTへ書き込みで舗装の厚みに対応

〔ファイル〕－〔福井コンピュータ連携〕－〔TREND-POINT（.XFD）へ保存〕で舗装の厚みに対応したデータを書き込めるようにしました。

1-12 TREND-POINTと同時起動して連携可能

3次元設計データ作成に〔POINT連携〕－〔取り込み〕－〔自動連携〕〔現地盤取込〕〔計画面出力〕を追加しました。



- ・〔自動連携〕：TREND-POINTが起動している場合は、以下の一連の作業を自動で行います。

EX-TREND武蔵		TREND-POINT
線形を送信	→	線形を読み込み、現況を作成
現況を取得 現況と計画をすり付け	←	
計画面を送信	→	計画面を読み込み

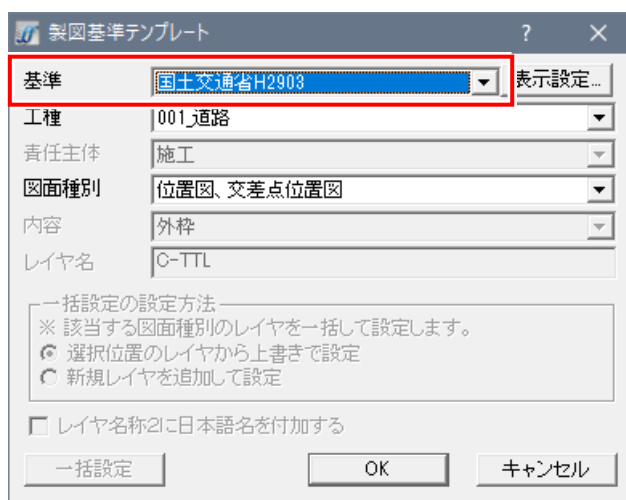
- ・〔現地盤取込〕：TREND-POINTに問い合わせを行い、取得済みの現況を横断SIMAで取得します。
一括すり付けを行うこともできます。
- ・〔計画面出力〕：計画面をLandXMLとしてTREND-POINTへ送信します。

2 TRENDff

TRENDffの新機能をご紹介します。

2-1 「CAD 製図基準」H29.3 に基づく CAD 製図基準チェックに対応

【発注者ツール】－【CAD製図基準チェック】の【CAD製図基準テンプレート】で「国土交通省H2903」を選択してチェックできるようにしました。



2-2 「レイヤ名のユーザー定義」に日本語名を付加

「レイヤ設定」の「CAD製図基準テンプレート」に「レイヤ名称2に日本語名を付加する」を追加して、「レイヤ名のユーザー定義」に日本語名を付加できるようにしました。

※「基準」で「国土交通省H2903」以降を選択した場合に有効です。

TRENDff起動直後のダイアログの「新規」に「レイヤ名称2に日本語名を付加する」チェックボックスを追加して、「レイヤ名のユーザー定義」に日本語名を付加できるようにしました。

※「製図基準レイヤを設定する」をオンにして、「基準」で「国土交通省H2903」以降を選択した場合に有効です。

2-3 「CAD製図基準」H29.3に基づくファイルの命名規則に対応

【ファイル】－【名前を付けて保存】の【CAD製図基準に準拠】で「国土交通省H2903」を選択して名称を設定します。

TRENDff起動直後のダイアログの【編集・変更】または【指示・確認】の場合は、【自動処理】－【ファイル名変更】の【CAD製図基準フォルダ変更】で「国土交通省H2903」を選択すると、「CAD製図基準」H29.3に基づいた名称に変更することができます。

変更前の名称	変更後の名称
✓ C0CS0010.sfc	000C0CS0.sfc
✓ C0CS0020.p21	001C0CS0.p21
✓ C0PL0020.sfc	002C0PL0.sfc
✓ D0CS0010.p21	003C0CS0.p21
✓ D0PL0010.p21	004C0PL0.p21
✓ D0PL0020.p21	005C0PL0.p21

【CAD製図基準フォルダ変更】で「国土交通省H2903」を選択すると、「CAD製図基準」H29.3に基づいた名称に変更することができます。

3 電子納品検査プログラム

電子納品検査プログラムの新機能をご紹介します。

3-1 国土交通省の電子納品要領に対応

次の要領・基準に対応しました。

- ・地質・土質成果の電子納品要領(平成28年10月)
- ・CAD製図基準(土木・電気・機械)(平成29年3月)

3-2 国土交通省港湾局の電子納品運用ガイドラインに対応

次のガイドラインに対応しました。

- ・地方整備局(港湾空港関係)の事業における電子納品運用ガイドライン【業務編】(平成29年3月)
- ・地方整備局(港湾空港関係)の事業における電子納品運用ガイドライン【工事編】(平成29年3月)

3-3 水資源機構の電子納品（国土交通省準拠）に対応

水資源機構の電子納品（国土交通省準拠）に対応しました。

3-4 地籍調査に関する電子納品要領に対応

次の地籍調査に関する電子納品要領に対応しました。

- ・地籍調査成果電子納品要領(地籍)(平成29年4月)
- ・官民境界等先行調査成果 電子納品要領(先行) (平成29年4月)
- ・地籍基本調査成果電子納品要領(都市、山村、被災)(平成29年4月)

3-5 電子納品の「ICON」フォルダに関する出来形管理要領や手引き（H29.3）に対応

電子納品の「ICON」フォルダに関する出来形管理要領や手引き（H29.3）に対応しました。

UAV、TLS、ULS、TS、TSN、GNSS、MB、CIMおよび舗装フォルダ（GL、GU、PL、PC、PU）が追加され、登録できるようになりました。

3-6 UAV 関連の測量成果追加

「空中写真測量（標定点の設置）」「空中写真測量（撮影）」「その他の地形測量及び写真測量」内（CHIKAIフォルダ内）の成果16を追加しました。

3-7 「CAD 製図基準」H29.3 に基づく図面の命名に対応

H29.3のCAD製図基準に基づく、図面の命名に対応しました。

図面の「管理項目」の「図面ファイル名」で、図面番号＋ライフサイクル＋整理番号＋図面種類＋改訂履歴＋ユーザー定義で命名することができます。

4 写真管理

写真管理の新機能をご紹介します。

4-1 「デジタル写真管理情報応用スキーマ定義書 Ver.3」に対応した写真および写真情報の取り込みに対応

写真の取り込み時に、Ver.3の定義書に沿った「写真情報」を取り込んで自動振り分けできるようにしました。
写真区分、工種、種別、細別、施工管理値、撮影日付などの情報がセットされます。